



温暖化から地球を守るために 「今、できること」①

■今日、地球環境が重要な問題になっています。日常生活を送るうえではあまり実感のわかない問題かもしれませんが、地球の温暖化により異常気象が発生するなど地球規模の環境問題は深刻さを増しています。

地球温暖化は、石油などの燃料を燃やすことで出てくる二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスが太陽熱を吸収し、地球の温度を上げることによるものとされています。

そこで、住みよい地球環境を永く後世に引き継ぐために、私たちが「今、できること」を紹介します。

★ごみを減らそう！ ムダな包装を持ち帰らないために「マイバッグ」

■レジ袋は資源ごみとしてリサイクル利用もされますが、リサイクルの過程でもたくさんのエネルギーが使われ、二酸化炭素もたくさん排出されます。

そこで、自分の買い物袋（マイバッグ）を使い、レジ袋をもらわないことが一番環境に負担をかけないことになります。まずは、ごみをもとから減らしましょう。

★「今、できること」～ごみを減らす工夫

- ・買い物専用のバッグを用意する。
- ・小さく折りたためるバッグや風呂敷を携帯しておく。
- ・手に持てる商品は袋を使わない。

【参考】

仮にマイバッグで買い物をし、それを5年間使用し続けた場合、マイバグ一つでレジ袋1,250枚の働きをすることになるそうです。レジ袋を生産・焼却する際に排出される二酸化炭素量は24グラム／枚といわれ、この場合、二酸化炭素30キログラムを削減できることになります。

レジ袋いりません！



皆さんもご協力を「レジ袋減らし隊」

■循環型社会の形成と温暖化防止活動推進のために「レジ袋減らし隊」運動が展開されています。この運動は、買い物時のマイバッグ持参を呼びかけるものです。

札幌では、生活学校生が中心となり、市内のスーパーや商店に協力をお願いし実施しています。

運動の実施方法は、協力店に置いてある「レジ袋使わないからハンコくださいカード」をもらって、買い物時にレジ等でカードにハンコを押してもらうもので、昨年は6,050枚回収しました。カードは協力店で回収していますので、ハンコがいっぱいになったら提出して、新しいハンコをもらってください。

市外の協力店でもカードは使えます。全国共通のカードですので、レジなどで協力店かどうか確認してください。

市民の皆さんも買い物にはマイバッグを持参していただき、この運動にご協力ください。



ご長寿万歳

9月15日は、長い間社会に貢献されてきたお年寄りの長寿を祝う「敬老の日」。「長寿のみなさん」に対し、心からお喜び申し上げます。

■「敬老の日」を前に、市では80歳、87歳、90歳、98歳及び100歳以上の方々に敬老祝いを贈りました。また、市社会福祉協議会からも90歳以上の方に祝いが贈られました。

9月10日～12日には、瀬戸口市長が90歳、98歳の方と100歳以上の方を訪問し、敬老祝い金などを贈りました。市長が「おめでとうございます。これからも末永く元気で過ごしてください」と声をかけると、笑顔で「はい、ありがとうございます」と元気に受け答えをされました。

（8月31日現在）

◆元気な高齢者お二人を紹介します

99歳で鮮やかに絵描き 吉嶺スギさん（桜山西町）

スギさんは、今年の12月で100歳を迎えられます。元来、お体が丈夫で、若いときから、味噌や蕎麦、そして団子づくり、さらには大根、白菜などの野菜づくりに人一倍熱心だったそうです。最近まで湯穴にある自分の畑で仕事を続けてこれ、今でも庭の草取りなどを元気にこなしています。

週3回社会福祉協議会のデイサービスに通っていますが、もともと器用なスギさんは絵描きが得意。色の組み合わせが巧みで鮮やかな作品を数多く披露しておられます。

長生きのひけつは、「できるだけ粗食に努め、身体をよく動かすこと」だそうです。ご家族や地域の人たちのよき指南役として、お元気で過ごしてください。



91歳の「魔法の手」 田畑スエミツさん（塩屋北町）

スエミツさんは、「魔法の手」の持ち主。身の回りにあるものを使い、独創的な発想で小物などを作り上げ周りの人々を驚かせています。以前に指を怪我され、その不自由さを克服しようと、指訓練を始めたのがきっかけ。貝殻、どんぐり、ひも、布などがあるいろいろな作品に生まれ変わります。アイデアが浮かぶと、夜中でも起きて作品づくりに熱中するということです。

現在、「ピースフル立神」のデイサービスに週1回通っており、仲間の皆さんとも一緒に作品づくりを楽しんでいます。また、パソコンも使いこなし、手紙も書いているそうです。

長生きのひけつは、「自分の好きなことをする。作品を皆に喜んでもらうこと」とのこと。その若さとお達者ぶりに脱帽です。

